

広報

ひたちおた

特集

今年も美味しさ公約!

ひたちおた

フルーツ総選挙

～ぶどう&梨～



おめでとうございます…………… P6
 TOPICS …………… P7
 Enjoy! 竜神峡アウトドアフィールド…… P10
 えんじたちのスマイル…………… P23

広報
 ひたちおたが
 WEBでも読める





どっちも
美味しそうで
迷いすぎ～

ひたち
おた



フルーツ総選挙

ぶどう & 梨

特集

今年も 美味しさ 公約!!

市を代表する特産品、「ぶどう」と「梨」の季節が今年もやってきました。口の中いっぱい広がる甘さ、とびっきりのみずみずしさ……産地で味わうもぎたてフルーツの美味しさは格別です！毎日の食卓はもちろん、お世話になった方への贈り物にも大変喜ばれます。生産者の皆さんが、我が子のように手塩にかけて育てた「ぶどう」と「梨」。今回は、市内の観光果樹園をとりまとめる3つの部会にお話を伺いました。美味しさの理由や取り組み、いま注目の品種などなど。この特集を読めば、常陸太田の「ぶどう」と「梨」をより美味しく、より楽しめること間違いなしです。今年はずいぶん個性豊かな市内果樹園をめぐって食べ比べてみてください。

市内で味わえる主なぶどうの収穫時期

栽培品種	8月	9月	10月	11月
巨峰	●	●	●	●
常陸青龍	●	●	●	●
シャインマスカット	●	●	●	●
安芸クイーン	●	●	●	●

市内で味わえる主な梨の収穫時期

栽培品種	8月	9月	10月	11月
早水	●	●	●	●
幸水	●	●	●	●
豊水	●	●	●	●
秀玉	●	●	●	●
恵水	●	●	●	●

【取材協力】JA常陸 常陸太田ぶどう部会、JA常陸 水府地区ぶどう生産部会、JA常陸 常陸太田梨部会

*各園、新型コロナウイルス感染症対策を行い直売所を開設します。



武藤 豊

武藤観光農園



JA常陸 常陸太田ぶどう部会 部会長

多彩なぶどうで 消費者の期待に 応えます！



約60年前、3本の巨峰の木から始まった常陸太田のぶどう栽培。現在、会員数49名の常陸太田ぶどう部会で部会長を務める武藤豊さんは、57年続く「武藤観光農園」の2代目です。「私が生まれた年にぶどう園が始まったんです。同じ歳なんですよ」と気さくに笑う武藤さん。現在は、3代目となる息子さんと力を合わせてぶどうを作っています。

常陸太田ぶどう部会のぶどう栽培のこだわりについて、武藤さんに伺いました。「もともと常陸太田のぶどう栽培は巨峰から始まったので、どの農園も巨峰には特にこだわりが強いですね。粒が大きくて、甘さが十分に乘っている美味しい巨峰をお届けできるような目指しています」（武藤さん）。

近年人気を集めているのが、「シャインマスカット」など種無し品種。消費者の要望に応え、種無しの巨峰も多く見かけるようになりました。むしろ今では「種あり」の方が希少性が高いという声も。

「種無しは手軽に食べられますが、種あり巨峰の方が糖度が高くなるんです。なので、あえて種ありを探して来る人もいます。消費者のニーズに

合わせて両方作っている園も多いですね」と武藤さん。また、「種類の違うぶどうを詰め合わせて贈りたい」という要望が多いことから、常陸太田ぶどう部会では多品種を扱っている園も多いとも言います。特に若手を中心としたぶどう部会青年部では新品種に積極的に挑戦し、お客さんの反応を見ながら継続栽培するかどうかを判断しているそうです。スーパーでは出会えないぶどうを手にとれるのも、産地直売ならではの魅力です。

常陸太田のぶどうと言えばオリジナル品種の「常陸青龍」も人気です。「常陸青龍も、以前に比べ認知度を得て市外からの問い合わせも多くなりました。生産量も増えてきています」（武藤さん）。常陸太田の誇る果実の宝石。ぜひ味わってください。





大きくて美味な

梨をシーズン通

して届けます！



JA常陸 常陸太田梨部会 部会長



檜山 邦男
檜山果樹園

常陸太田の梨栽培の歴史は古く、明治時代にまでさかのぼります。常陸太田梨部会部会長の檜山さんにお話を伺いました。「常陸太田は環境に恵まれた土地です。ミネラル分も多く含む良い土壌で、気候も温暖で、海風も山風も避けてくれるので作りやすいですね」と檜山さん。現在、部会の会員数は24名で、市南部を中心に点在しています。「栽培には水もとても重要。久慈川をはじめ、水にも恵まれている場所です。自分たちの力だけでなく、自然の助けを借りながら梨を作っています」（檜山さん）。檜山果樹園は、すぐ近くを流れる里川の清らかな水を引き込んで梨を栽培しています。

大玉で美味しい梨です。和梨の種類は大きく分けて赤梨と青梨がありますが、秀玉は青梨。幸水や豊水は赤梨です。常陸太田のぶどうが巨峰と常陸青龍の赤青二本柱なので、梨も赤系と青系で名物にしていきたいと考えています」と檜山さんは話します。常陸太田梨部会では、多彩な品種が次々とリレーのように収穫期をバトンタッチしていき、切れ目なく美味しい梨を提供。いずれの品種も、出荷の時期は1週間から2週間ほど。旬を逃さないよう要チェックです。「品種を名指しでお求めになる方も多いんですが、同じ種類でも収穫時期や園ごとに風味が違うもの。ぜひ、市内梨園に足を運んで食べ比べてみてください」（檜山さん）。今年も大きくて美味しい梨がすくすく育っています。





猿田 直行

猿田直行
ぶどう園

JA常陸 水府地区ぶどう生産部会 部会長

甘さ追求！
鮮度重視！味に
こだわります！



水府地区、金砂郷地区のぶどう生産者で構成される水府地区ぶどう生産部会。現在は6軒が加盟し、各園での直売を中心にぶどうを販売しています。部会長の猿田さんが営む猿田直行ぶどう園は、水府地域の最南端に近い場所。水府といえば「水府煙草」で知られるとおり、元々葉たばこの生産がさかんでした。かつてのたばこ農地の多くは蕎麦畑になったそうですが、転作作物としてぶどうも選ばれたといいます。

猿田さんの園を訪ねると、ぶどう棚にはこれから袋掛けを待つぶどうがたわわに実っていました。「実が柔らかくなって色つき始めたら、ひと房ずつ状態を確認して袋をかけていきます。ぶどうの美味しさ、甘さを追求したいので、うちでは多めに間引いて厳選して栽培しています」と猿田さん。ぶどう栽培は実をつけたらそのまま育てのを待つわけではありません。栄養分がひと房ひと房に行き渡り、甘くなるように必要のない房を落とし、ひと粒ひと粒が大きくなるよう残した房の実も間引いて調整します。この作業は、ぶどうの出来を左右する大切なポイントです。

水府地区ぶどう生産部会の販売は、

例年8月上旬から始まり、10月上旬ごろまでとなります。猿田さんはすべて園の直売のみで販売。「収穫当日のものしか販売しません。朝収穫したぶどうが無くなり次第終了です。中には、売り切れ後に、なっているものを取ってほしい」と言う方もいるのですが、それはしません。自分が納得できる良いものしか売りません」と、鮮度と完熟に頑固なほどのこだわりを持つ猿田さん。そんな職人気質の猿田さんのぶどうには固定ファンが多いというのも頷けます。猿田さんが栽培する代表品種は巨峰（種無し）。そのほか、ピオーネやハニレッドなども作ります。ハニレッドはピンク色の実で、糖度が高いけれど柔らかくあまり市場には出回らない品種。どれも園主のこだわりが詰まった美味しさです。





令和元年度市体育協会表彰

長年にわたり競技の普及・発展に貢献されたことから次の方が表彰されました。

◆体育功労者表彰…

- ・古谷田 康義さん（バスケットボール）
- ・堆 泉さん（剣道）



長い間献血にご協力いただき、ありがとうございます

4月1日から6月28日まで献血された方のうち、献血を50回以上行い、満68歳を迎えた後に献血をした次の4人の方に、県赤十字血液センターから感謝状が贈呈されました。

- ・佐川京平さん（折橋町）
- ・立川久泰さん（西二町）
- ・吉澤和洋さん（木崎二町）
- ・吉澤美弥子さん（中染町）

令和元年度消防功労者が受章

金澤克義さん（中染町）、高星賢治さん（小中町）が、消防功労者消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章しました。これは、消防団員として、長年にわたり災害現場で活躍し、市民の生命、財産を災害から守る強い使命感、そして「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神により地域のために尽力された功績が認められたものです。



水府支団 支団長
金澤克義さん



里美支団 支団長
高星賢治さん

子どもの読書活動優秀実践団体 文部科学大臣から表彰

長年にわたり子どもたちへの本の読み聞かせなどを行ってきた読書団体「銀河ステーション文庫」が、子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣から表彰されました。これは文部科学省が子どもの読書を推進するため表彰を行う

ているもので、特色ある優れた実践を行っている団体として選ばれました。代表の石月さんは「これからの活動の励みになる。今後も読み聞かせとおして子どもたちに先人たちの知恵を伝えていきたい」と話しました。





おめでとうございます



鈴木さん(左)、井上さん(右)

元民生委員・児童委員の鈴木さん(折橋町)と井上久夫さん(下高倉町)が、民生委員・児童委員として長年にわたり社会福祉の増進に貢献されたことから、厚生労働大臣特別表彰となりました。7月15日には、市役所で市長より表彰の伝達が行われました。

民生委員・児童委員
厚生労働大臣特別表彰伝達式



TOPICS



(左から)萩谷さん、檜山さん、市長、江幡さん

7月2日、市内で農業を営む次の方が県知事より新たに青年農業士等に認定されました。

- ・ 檜山誠光さん(青年農業士)
- ・ 江幡紫乃さん(女性農業士)
- ・ 萩谷浩司さん(農業経営士)

皆さんには、農業経営や次の世代の担い手育成、地域農業の振興を進める地域リーダーとして、また次代を担う農業後継者の新たな目標となるなど、地域でのさまざまな活躍が期待されます。

青年農業士等に認定



温かいご支援 ありがとうございます

合同会社ユーラスエナジー里美様 ◆地域振興のため 100万円



社会を明るくする運動

7月1日〜10日、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支えるチカラ」をスローガンに、第70回社会を明るくする運動広報活動が行われました。市役所、かねやフェスタ店、カスミ常陸太田店にのぼり旗を設置するなどの活動を実施。この取り組みは、久慈地区保護司会常陸太田支部が中心となり、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くために毎年行われているものです。



宝くじ助成事業で 染和田コミュニティの備品を整備

令和元年7月に設立した「染和田コミュニティ」では、さらなるコミュニティ活動の充実のため、宝くじ助成事業を活用し、備品を整備しました。今後は、これらの備品を活用し、地域の絆を深め、活性化を図っていきます。宝くじ助成事業は、宝くじの社会貢献、広報を目的として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されるコミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するものです。

● 今回の助成により購入された備品：会議用テーブル大・小、会議用チェア、ワイヤレスアンプ・マイク、簡単テント、プロジェクター、スクリーン、AVケーブル、事務机、事務イス、パソコン、プリンター、拡声器、チューナーユニット



350個のプランターを設置

県の道路里親制度に認定されている「谷河原三四会」等が、国道349号線1.4kmにベゴニアを植栽した350個のプランターを設置しました。この活動は平成25年に国土交通大臣から表彰されています。また、谷河原駅から佐竹南台団地入口交差点まで、マリーゴールドやペチュニアの木造プランター60個を設置。沿道の花壇にはサルビア、メランポジウム1500本が植えられ、運転手や地域の人たちの目を楽しませていきます。





道の駅ひたちおおたで花壇の植栽

7月11日、道の駅ひたちおおたで専門の郷応援団による花壇の植栽が行われました。同応援団は、平成28年7月の道の駅オープンに合わせて活動を開始し、市民提案型まちづくり事業などを活用しながら活動してきました。毎年7月と11月に、市民ボランティアや中学生を集めて草花の植栽を行っています。今回は新型コロナウイルス感染症予防のため、

め、団員や道の駅のスタッフなど関係者のみで実施。国道349号沿いにある花壇には、ニチニチソウ、コリウスのほか、明るい黄色の花を咲かせたヒマワリが植えられ、市の玄関口を彩りました。代表の大内広明さんは「今後も活動を継続し、花があふれる常陸太田市にしていきたい」と笑顔で話してくれました。



高校生に動画で企業紹介

7月17日、太田二高で企業紹介DVDを使用した企業説明が行われました。企業紹介DVDは、毎年実施している高校生向け企業説明会が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったことを受け制作したもので、市内6社の事業内容などが紹介されています。企業を知るきっかけをつくるために授業の中でDVDを視聴する時間を設け、就職希望の生徒46人が動画による企業紹介に耳を傾けました。参加した生徒は、「求人票だけではどんな仕事か分からなかったけど、映像をみることでこれから就職先を決める上での参考になった」と話してくれました。

一部の動画が
ご覧になれます

